

お囃子^{はやし}って
楽しいな♪

【特集】「お薬手帳は1冊」運動を すすめています… 2

- 伊賀市の公式ホームページが新しくなりました……4
- スマホ用アプリ「マチイロ」で広報いが市を配信します…5
- 高額医療・高額介護合算療養費制度……………8
- 看護師正規職員を募集します……………10
- 日直・宿直業務員募集……………11
- 2月の二次救急実施病院……………23

※写真は、1月14日に上野歴史民俗資料館で行われた上野天神祭のお囃子体験会の様子。詳しくは19ページをご覧ください。

上手に活用して健康管理をしましょう

「お薬手帳は1冊」運動をすすめています

日本では2025年頃までに、75歳以上の高齢者が多くなることで介護・医療を必要とする人が増加し、病床の不足など社会にさまざまな問題が生じると予想されています。これを2025年問題と呼んでいます。市では、この問題に対して、住み慣れた場所で安心して暮らしていくしくみ（地域包括ケアシステム）をつくっていくことを考えています。

現在、「お薬手帳」を活用して、在宅患者の薬の管理に役立つしくみづくりに取り組んでいます。

◆飲んでいる薬の管理に便利です

お薬手帳には、次のような利点があります。

- 処方された薬の名前や時期・量などを記録することができる。
- 緊急時やいつもと違う医療機関、薬局に行っても、服用中の薬や治療歴が分かる。
- 医師や薬剤師、ケアマネジャー、訪問看護師、ホームヘルパーなどが、お薬手帳によって情報を共有することができる。

◆お薬手帳を活用した支援のしくみづくりをすすめています

誰もが安心して暮らせるまちづくりには、医療・福祉・介護の連携が必要だと考えています。

そのため、医師や薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、社会福祉法人などの専門職と行政が検討を重ねて、どうしたら在宅患者を支援し

ていけるかを考えてきました。

そこで、まずは「お薬手帳を活用した在宅支援のしくみ」（次のページのイメージ図）をつくることに取っかかりました。

提示すること、1冊にまとめることが大切

患者さんの中には、複数の医療機関や診療科にかかり、そこで同じ内容の薬を処方されている人が大勢います。

診察時にほかの医療機関でどんな薬をもらっていたかを聞いても、本人の記憶があいまいで何の薬かわからず飲んでいる場合もあります。一方の医療機関では適量で処方されているはずが、他方でも同様の処方を受けることで、同じ効果の薬を2倍飲むことになり副作用を招きかねません。

そこで、応急診療所などの救急の場合も含めて、どのような治療や処方を行ったのがわかるように、医療機関でお薬手帳を提示す

ることが大事です。さらに、お薬手帳を1冊にまとめて管理することで、今までの病状や経過を時系列で見えて診察することができるようになります。

今後は、医師やケアマネジャーなどが連携していくため、お薬手帳に連絡事項を書き込んで活用するしくみづくりを進め、普段の支援に取り入れていきたいと考えています。



▲伊賀医師会 猪木達会長（岡波総合病院院長）



◆お薬手帳ってなに？

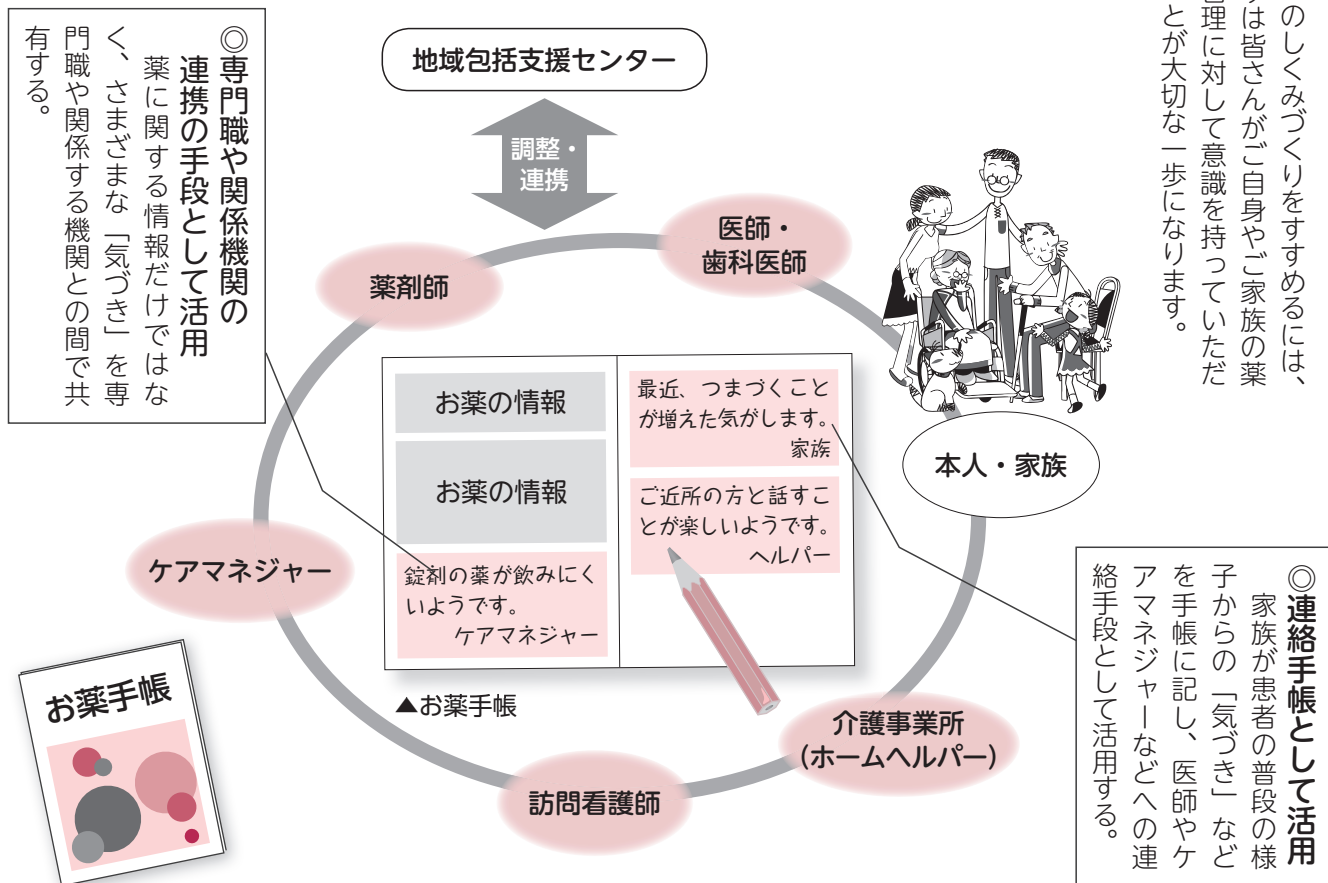
皆さんは、「お薬手帳」を持っていますか。

お薬手帳とは、皆さんが病気やけがで病院にかかったとき、医師が処方した薬や治療歴などを記録するための冊子です。

通常、医療機関や薬局などで配布されています。



《お薬手帳を活用した在宅支援のしくみ（イメージ図）》



1冊のお薬手帳で薬が管理しやすくなりました

～実際の事例から～
訪問看護師 西出 聡美さん



▲訪問看護師
西出 聡美さん

私が訪問看護を担当するAさん（90歳・女性）は、複数の医療機関を受診し、それぞれの医療機関でもらった複数のお薬手帳を持っていました。そのため、それぞれの医療機関でどのような薬が処方されているかわからず、眼科で止血剤が、内科で血液をサラサラにする薬が同時期に処方されたり、腰痛に対して整形外科と内科で痛み止めが重複して処方されたこともありました。

そこで病院のかかりつけ医に相談し、お薬手帳を1冊にまとめ、薬の整理をしました。

その後は、受診時に医師がお薬手帳で服用中の薬を確認することで、飲み合わせの悪い薬の服用をさけることができました。

お薬手帳のカバーを配布します

お薬手帳のカバー作成を予定しています。

カバーは、専門職や関係機関との連携を意識した次のような仕様になっています。

○ケアマネジャーの名刺や家族の緊急連絡先記入欄などを入れるポケットが付いている。

○にんにんサポート伊賀（子育て・障がい・介護などの福祉の総合相談窓口）の連絡先などが記載されている。

まずは、要介護・要支援などの人を対象にケアマネジャーを通じて順次配布する予定です。

◆円滑な支援が受けられるように

医療・福祉・介護が連携して、在宅で医療を受ける皆さんを支援していくためにも、まずは皆さん自身に薬の管理に対する意識を持っていたことが重要です。

もしも今、お薬手帳を何冊もお持ちでしたら、まずは1冊にまとめることから始めましょう。

【問い合わせ】

医療福祉政策課
TEL 22・9705 FAX 22・9673

伊賀市の 公式ホームページが 新しくなりました！

2月1日から

▼お気に入り(ブックマーク)の再登録を
トップページ以外のページは、
アドレスを変更しています。
該当ページをお気に入りに登録
している場合は、お手数ですが、
再度登録をお願いします。



誰もが見やすく使いやすくなるよう、市公式ホームページのデザインや機能などを一新しました。
今回は、新たに追加した機能を紹介します。



▲市公式ホームページの新しいトップページ

使いやすい！



新機能のポイント①
誰もが使いやすいウェブサイトに
文字を大きくしたり、音声の読み上げが今より簡単にできるようになりました。
年齢や身体的条件に関係なく、誰もが使いやすいサイトになるよう配慮しています。

新機能のポイント②

トップページの変更
デザインを

伊賀市の良さがひと目でわかるよう、風景やイベントなどの画像を表示し、検索窓をめだつ位置に配置しました。

また、緊急・災害情報を即時に公開できるコーナーを設け、災害時などの情報がこれまで以上にわかりやすく速やかに発信できるようになりました。

災害時も心強いなあ



新機能のポイント③

スマートフォンなどに対応

スマートフォンやタブレットなど、画面の大きさに合わせて表示が最適化され、見やすく使いやすいデザインになりました。

スマホでも
見やすい



新機能の
ポイント④

新着情報をお知らせします (RSS配信サービス)

RSSリーダーと呼ばれるソフトウェアを使うと、ホームページにアクセスすることなく、新着情報が公開されたことを確認できます。
※RSS機能について、詳しくは市ホームページをご覧ください。

新機能の
ポイント⑤

子育て情報特設サイト

「伊賀流未来応援の術」を開設

ホームページ内に散在していた子育てに関する情報を集約した特設サイトを開設しました。

子育て世代に必要な情報を発信していきます。

伊賀流未来応援の術

仕事や家事の合間に
チェックしたい。



新機能の
ポイント⑥

移住交流ポータルサイト

「iga-style」を開設

伊賀市への移住をお考えの人に対して、伊賀市がどのようなところか知っていただけるように、移住を支援する情報などを提供します。

iga-style

三重県伊賀市移住交流ポータルサイト



住みたいまち
伊賀市

▼アクセス方法

インターネットで、「伊賀市ホームページ」と検索するか、スマートフォンでのバーコードリーダー機能でQRコードを読み込んでください。

▼QRコード



今回のリニューアルをゴールではなく市ホームページのスタートとして位置づけ、今後も利用者の皆さんにとって役立つ情報をタイムリーに発信していけるように努めていきます。

【問い合わせ】 広聴情報課

TEL 22・96636 FAX 22・96617

スマホ用アプリ「マチイロ」で 広報いが市を配信します

2月1日
配信開始



市からの情報をより多くの皆さんにお届けできるように、スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」で広報いが市の配信を始めます。スマートフォンやタブレット端末に、無料の専用アプリ「マチイロ」をダウンロードすることで、毎月1日号・15日号の発行日にお知らせが届き、いつでも気軽に読むことができます。

◆「マチイロ」の利用方法

「マチイロ」を利用するには、専用のアプリをダウンロードして、簡単な個人設定をします。

▼アプリを入手するには…

① iPhoneをご利用の場合は「AppStore」を起動、
Androidをご利用の場合は「GooglePlay」を起動

② 「マチイロ」を検索し、アプリをダウンロード

▼個人設定の入力

① アプリの初回起動時に表示される「性別」「生年月日」「お住まいの地域」「興味のある分野」を入力

② 「利用開始」をタップして登録完了

※アプリの使用は無料ですが、通信費は各回線ごとの自己負担となります。

※アプリ内で表示される広告は、各自治体とは何ら関係ありません。

【問い合わせ】
○広報いが市について
広聴情報課
TEL 22・96636 FAX 22・96617
○アプリ「マチイロ」について
(株)ホープ
TEL 092・716・1404

マチを好きになるアプリ





消防 出初式

1月7日(出)、県立ゆめドームうえので消防出初式を行いました。

式典には、消防団をはじめ、消防職員など約800人が集まり、松居豊消防長の開式の言葉に続いて、国旗や消防本部旗、団旗に対する敬礼、点検者に対する敬礼をしました。

その後、通常点検では岡本栄市長と大森秀俊副市長らが、消防職員や消防団員の姿勢や服装を点検しました。また、感謝状の贈呈と優良消防団員などの表彰を行いました。

その中で、昨年10月14日に長野県で行われた全国消防操法大会小型ポンプの部で優勝した選手10人と、消防団員意見発表会全国大会に出場した1人を代表して大山田分団班長の成瀬義尚さんに特別表彰徽章が授与されました。

点検者訓示では岡本市長は、「皆さんのきびきびとした行動を拝見し、大変頼もしく思います。日々の鍛錬のたまものだと感じ、感謝を申し上げます。」と述べました。

また、昨年、新しい防災の拠点となる消防新庁舎が完成したことや、全国消防操法大会小型ポンプの部で優勝したことなどを挙げ、「これからも自分たちのまちの安心安全を守るため、また、技術の伝承のため、ご協力をお願いします。」と訓示を述べました。

式典の後、幼年消防クラブ員たち約80人が、忍ジャージダンス・チャイルドバージョンを披露し、「火事を起こしません。マッチやライターは持ちません。火遊びはしません。守ります、火の用心。」と、声をそろえて防火の誓いをしました。



◆ 火災を未然に防ぐために

枯れ草火災を防止しましょう

【問い合わせ】消防本部予防課
☎ 24-9105 FAX 24-9111



春先には各地であぜ焼きや枯れ草の焼却が行われ、これが原因で火災が発生しています。気象状況や周囲の可燃物の状況に注意するとともに、近くに消火用の水を用意し、その場を離れないようにしましょう。火災と間違ふような火や煙を発生させる恐れのある

ときは、事前に消防署に届け出てください。

枯れ草は、一度火がつくと一気に燃え広がるため、周辺に住んでいる人に迷惑と不安を与えます。

特に建物の近くにある枯れ草を刈り取らずに放置することは大変危険です。早い時期に刈り取りましょう。

◆ 1年間で、消防車や救急車などがこれだけ出動しました

消防本部の火災・救急・救助の概要

【問い合わせ】消防本部消防救急課

☎ 24-9116 FAX 24-9111

1 火災の出動概要

平成28年の火災件数は60件で、前年に比べて10件の増加となりました。これは、およそ6日に1件の割合で火災が発生したことになります。



平成28年は、前年に続き、火災による死者が発生しませんでした。

また、平成29年1月8日に「伊賀市内の火災による死者なし1,000日」を達成しました。

火災が起きたときの逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器をまだ設置していないご家庭は、早期の設置をお願いします。

また、設置しているご家庭は10年を目安に交換してください。

火災の出動概要		平成28年	平成27年	増減
火災件数	建物火災	23	32	▲9
	林野火災	8	3	5
	車両火災	10	8	2
	その他火災	19	7	12
	合 計	60	50	10
焼損面積	建物火災 (㎡)	1,111	3,846	▲2,735
	林野火災 (a)	22	63	▲41
死傷者	焼死者 (人)	0	0	0
	負傷者 (人)	8	9	▲1
主な原因など	枯草焼きなど	25	7	18
	放火・放火の疑い	3	4	▲1
	たばこ	2	4	▲2
	こんろ	2	3	▲1
	工場・作業場の機械など	1	3	▲2
	車両の故障・事故など	0	3	▲3
	ストーブ	0	2	▲2
	電気機器・配線	0	2	▲2
	火遊び	0	1	▲1

2 救急の出動概要



平成28年の救急件数は4,583件で、前年に比べて62件の増加となりました。

搬送した人数は4,169人で、前年に比べて104人の増加となりました。これは、市民の約23人に1人が救急車で搬送されたことになります。

救急の出動概要		平成28年	平成27年	増減
事故種別 (件)	火 災	19	10	9
	自然災害	0	0	0
	水難事故	2	3	▲1
	交通事故	446	416	30
	労働災害	66	76	▲10
	運動競技	15	10	5
	一般負傷	655	664	▲9
	加 害	12	13	▲1
	自損行為	35	42	▲7
	急 病	2,809	2,865	▲56
	転院搬送	521	416	105
	医師搬送	0	0	0
	その他	3	6	▲3
	合 計	4,583	4,521	62

3 救助の出動概要

平成28年の救助件数は65件で、前年に比べて13件の増加となりました。



救助の出動概要		平成28年	平成27年	増減
事故種別 (件)	火 災	0	0	0
	交通事故	45	36	9
	水難事故	4	7	▲3
	機械による事故	2	3	▲1
	建物などによる事故	3	0	3
	風水害等自然災害事故	0	0	0
	ガス及び酸欠事故	0	1	▲1
	その他の事故	11	5	6
	合 計	65	52	13

※ 1 2 の平成28年の件数は速報値のため、数値を変更することがあります。

【問い合わせ】 ○火災関係：消防本部予防課 ☎ 24-9105 FAX 24-9111

○救急・救助関係：消防本部消防救急課 ☎ 24-9116 FAX 24-9111

医療と介護の両方のサービスの利用している世帯の負担を軽減する制度です

高額医療・高額介護合算療養費制度

▼医療保険料と介護保険料を
合算して支給額を計算します

世帯内の国民健康保険または後期高齢者医療制度の被保険者の全員が1年間（平成27年8月～28年7月）に支払った医療保険と介護保険の自己負担額^{*1}を合計し、限度額を超えた場合に、その超えた金額を支給します。

※計算後の支給額が500円以下の場合は対象となりません。

※限度額は世帯の所得状況によって異なります。（下表参照）

※国民健康保険と後期高齢者医療制度以外の健康保険に加入している人は各保険者へおたずねください。

^{*1}：医療機関などに支払った一部負担金（70歳未満の場合の医療保険分は、1つの医療機関で同月内に21,000円以上支払った一部負担金）から高額療養費・高額介護サービス費の払い戻し相当分を差し引いた金額が対象です。医療保険・介護保険の自己負担額のいずれかが0円である場合は対象になりません。

■限度額表

負担区分	①後期高齢者医療制度と介護保険 ②国民健康保険と介護保険 (70～74歳の人がいる世帯)	③国民健康保険と介護保険 (①②以外の世帯)	
		所得額 ^{*2}	
一定以上所得者	67万円	901万円超	212万円
		600万超 901万円以下	141万円
一般 (市民税課税世帯)	56万円	210万超 600万円以下	67万円
		210万円以下	60万円
低所得者 (市民税非課税世帯)	31万円 (19万円 ^{*3})	34万円	

^{*2}：総所得金額などから基礎控除額（33万円）を差し引いた額

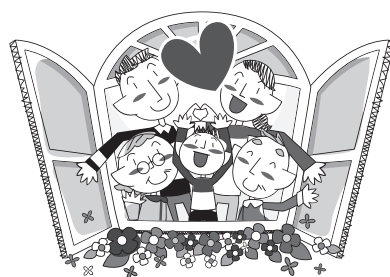
^{*3}：同じ世帯の全員が市民税非課税で、それぞれの所得から必要経費・控除（年金の所得は80万円として計算）を差し引いたときに、0円になる人

▼申請をお忘れなく！

支給対象の後期高齢者医療被保険者と国民健康保険の納税義務者に、1月末に申請書を郵送していますので、忘れず申請してください。
申請時には、次のものを持参してください。

○被保険者のマイナンバーカード（個人番号カード）または通知カード
○届け出をする人の本人確認書類（運転免許証・パスポートなどの顔写真付きの身分証明書）

※顔写真付きのものがない場合、保険証や年金手帳など、本人確認書類が2点必要です。



◆平成27年8月から平成28年7月までの間で、次に該当する人は申請対象となります旨のお知らせができない場合があります。支給の対象と思われる場合はご相談ください。
○市町村を越える転居をし、加入する保険が変わった人
○ほかの医療保険から国民健康保険や後期高齢者医療保険に移った人

【問い合わせ】

○後期高齢者医療担当

（保険年金課）

☎22・9660 FAX 26・0151

○国民健康保険担当

（保険年金課）

☎22・9659 FAX 26・0151

○介護保険担当

（介護高齢福祉課）

☎26・3939 FAX 26・3950

◆ 農業者の皆さん、老後の備えは万全ですか

農業者年金をご利用ください

【問い合わせ】 農業委員会事務局

☎ 43-2312 FAX 43-2313

◆ 現役を退いた後もあなたの人生は続きます

○ 65 歳からの平均余命は…

男性：19 年 女性：24 年

(厚生労働省「平成 27 年簡易生命表」より)

◆ 老後の生活はこんなにお金がかかる

○ 高齢農家世帯（世帯主が 65 歳以上の夫婦 2 人）の
場合の老後の家計費

⇒月額：約 23 万 7,000 円

○ 国民年金だけでは…

⇒月額：約 13 万円

1 カ月あたり約 10 万 7,000 円不足

▶ 農業者年金のメリット

○ 少子・高齢時代に強い積立方式の年金

○ 終身年金で 80 歳までの保証付き

○ 支払った保険料は、全額社会保険料控除の対象

○ 手厚い政策支援、保険料に国庫補助も

▶ 加入要件

① 国民年金第 1 号被保険者

② 年間 60 日以上農業に従事
する人

③ 60 歳未満の人

農業者であれば
加入できます！

■ 農業者年金の年金額の試算額

加入年齢	納付期間	性別	試算額（年額） ※月額 2 万円の保険料
20 歳	40 年	男性	86 万 5,000 円
		女性	73 万円
30 歳	30 年	男性	56 万 2,000 円
		女性	47 万 4,000 円
40 歳	20 年	男性	33 万円
		女性	27 万 5,000 円
50 歳	10 年	男性	14 万 3,000 円
		女性	12 万円

この試算は、通常加入で 65 歳までの運用利回りが 3%、65 歳以降の予定利率が 0.5% となった場合の試算です。

運用利回りは加入後の経済変動などにより上下します。制度発足以降の 13 年間（2014（平成 26 年）まで）の運用利回りの平均は年率 3% です。

予定利率は毎年度農林水産省告示により定められ、2016（平成 28）年度は 0.5% です。

◆ 伊賀市の農業についてご意見をいただける人を募集します

農業委員会委員・農地利用最適化推進委員

【問い合わせ】 農業委員会事務局

☎ 43-2312 FAX 43-2313

【募集人数】

○ 伊賀市農業委員会委員：24 人

このうち 1 人は農業委員会の業務に利害関係のない人を募集します。

○ 伊賀市農地利用最適化推進委員：56 人

※各担当地区など、詳しくは市ホームページをご覧ください。

【応募資格】 農業に関する知識を持っていて、原則、市内に住所があり、現在住んでいる人

【任期】

○ 伊賀市農業委員会委員

平成 29 年 7 月 20 日から 3 年間

○ 伊賀市農地利用最適化推進委員

委嘱した日から平成 32 年 7 月 19 日まで

【報酬】 条例に基づき支給します。

【応募方法】 農業委員会事務局または各支所振興課・各地区市民センターにある所定の応募用紙に必要事項を記入し、押印の上、申し込んでください。

【選考方法】 書類審査

※地区の構成比率などを考慮して決定します。

【応募期間】

2 月 15 日(水)～3 月 15 日(水)

※土・日曜日、祝日を除く。

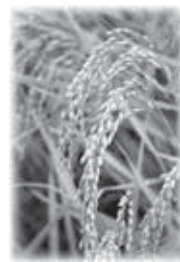
【応募先】

○ 〒518-1313 伊賀市馬場 1128

農業委員会事務局・農林振興課

○ 各支所振興課

○ 各地区市民センター

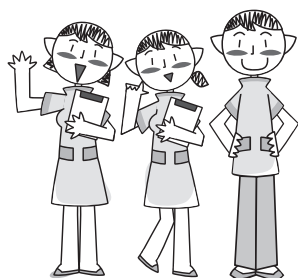


◆ 伊賀の明日の医療をともに支えていきませんか

看護師正規職員を募集します

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課

☎ 24-1111 FAX 24-1565



市民病院では、より多くの患者さんを受け入れ、質の高い看護を提供するため、平成 29 年度と平成 30 年 4 月に採用する看護師を募集します。

【対象者】

昭和 33 年 4 月 2 日以降生まれで、看護師免許を持っている人または平成 30 年 3 月末までに取得見込みの人

【募集人数】 20 人程度

【選考試験日】 すべて金曜日

3 月 3 日・4 月 7 日・5 月 12 日・6 月 2 日・7 月 7 日・8 月 4 日・9 月 1 日・10 月 6 日・11 月 10 日・12 月 1 日・平成 30 年 1 月 12 日・2 月 2 日
※時間などは応募した人に後日お知らせします。

【応募期限】

各選考試験日の 14 日前の金曜日の午前 8 時 30 分から午後 5 時まで

※土・日曜日、祝日、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)を除く。

※郵送の場合は必着。簡易書留で送付してください。

【試験会場】

上野総合市民病院

【選考方法】

作文試験・面接試験

【提出書類】

○平成 29 年度伊賀市職員選考採用試験受験申込書(1 通)

○外国籍の人は住民票などの在留資格を証する書類(1 通)

【採用予定日】

平成 29 年 5 月 1 日から平成 30 年 4 月 1 日までの各月 1 日

【勤務形態】 休日勤務・夜間勤務を伴う交代制勤務

給与・勤務条件は、市の条例・規則に定めるところによります。

【休 暇】

年次有給休暇、特別休暇(結婚・産前産後・子の看護・忌引・ボランティアなど)、病気休暇、介護休暇など
※育児休業制度、部分休業制度も整備しています。
※託児所がありますので、子どもがいる人も安心して勤務できます。

【申込先】

○総務部人事課 ☎ 22-9605

○〒518-0823 伊賀市四十九町 831 番地

伊賀市立上野総合市民病院事務部病院総務課

◆市民病院を見学してみませんか

実際に働くまでに当院の雰囲気を見学したい人は、お気軽にお問い合わせください。

※見学の申し込みは随時受け付けています。

◆ 看護師をめざす皆さんへ

看護学生修学資金制度

【問い合わせ】 上野総合市民病院病院総務課

☎ 24-1111 FAX 24-1565



【対象者】

看護師の資格を取得するため、看護専門学校または看護系大学に入学・在学する人で、卒業後に病院で看護師として勤務する人

【募集人数】 若干名

【貸与額】 月額 80,000 円または月額 50,000 円

【返還の免除】

卒業後、1 年以内に看護師免許を取得し、引き続き次の期間に上野総合市民病院で勤務した場合は、修学資金の返還を免除します。

○5 万円の場合

貸与を受けた期間に相当する期間

○8 万円の場合

貸与を受けた期間の 1.5 倍に相当する期間

【必要書類】

○修学資金貸与申請書

○入学説明書または在学証明書

○履歴書(写真添付)

【選考方法】

書類審査・面接・作文

申請を希望する人は、
必ず事前に
お問い合わせください。



◆ 4月1日以降、勤務する人を募集します

日直・宿直業務員募集

【問い合わせ】管財課

☎ 22-9610 FAX 24-2440



【勤務場所・募集人数】

勤務場所は次のいずれか

○日直業務員（臨時職員）※以下日直

①市役所本庁舎 ②市役所伊賀支所庁舎 各1人

○宿直業務員（嘱託職員）※以下宿直

③市役所本庁舎 ④市役所島ヶ原支所庁舎 各1人

【応募資格】※宿直のみ

平成29年4月1日現在70歳未満の人

※学生は除く。

【勤務形態】

○日直：①2人体制勤務…4日程度／月

②1人体制勤務…4～5日程度／月

○宿直：③2人体制勤務…8～10日程度／月

④1人体制勤務…10日程度／月

【勤務期間】

○日直：4月1日(土)～9月30日(土)の土・日曜日、祝日
午前8時30分～午後5時

※更新の可能性があります。

○宿直：4月1日(土)～平成30年3月31日(土)
午後5時～翌日の午前8時30分

【勤務内容】

○日直：市役所各庁舎への休日来庁者や電話などの対応・戸籍関係届出の受付など

○宿直：市役所各庁舎への夜間来庁者や電話などの対応・戸籍関係届出の受付など

【賃金】

○日直：6,500円／日

○宿直：10,500円／日

【応募方法】履歴書を持参してください。

※勤務場所の希望は履歴書の提出時に伺います。

【選考方法】面接

※面接は市役所本庁舎で行います。

※面接日時は応募期限後に通知します。

【応募期間】2月10日(金)～23日(木)の午前8時30分～午後5時15分 ※土・日曜日を除く。

【応募先・問い合わせ】

○（本庁舎）管財課

○（伊賀支所庁舎）伊賀支所振興課 ☎ 45-9111

○（島ヶ原支所庁舎）島ヶ原支所振興課 ☎ 59-2053

※応募はいずれの場所でもできます。

◆ 11月分可燃ごみの分析調査結果をお知らせします

適正なごみの分別にご協力を

【問い合わせ】さくらリサイクルセンター

☎ 20-9272 FAX 20-2575



可燃ごみの出し方の実態を把握し、正しい分別方法を周知するため、11月に出土された可燃ごみの内訳を調査しました。

【調査方法】

各支所管内（青山を除く。）で、1カ所につきごみ袋約10袋を無作為に抽出し、調査分析しました。



◆可燃ごみのさらなる分別にご協力ください

調査の結果、可燃ごみ（371.14kg）の中に、紙類などの資源ごみや埋立ごみ（65.79kg）が含まれていました。

ラップやレジ袋などで汚れていないものは資源として活用できますので、容器包装プラスチックとして、決められた日に出してください。また、農業用の肥料袋・あぜシートなどは、販売店、廃棄物処理業者に相談の上、廃棄してください。

※分別について、詳しくはごみ分別ガイドブックをご覧ください。

◆分析調査の内訳《伊賀北部》

	分析量(kg)	適正量(kg)	適正率(%)
上野支所管内(3カ所)	156.98	128.01	81.55
伊賀支所管内	52.27	42.49	81.29
島ヶ原支所管内	55.68	49.84	89.51
阿山支所管内	49.68	42.39	85.33
大山田支所管内	56.53	42.62	75.39
伊賀北部の合計	371.14	305.35	82.27

※大山田支所管内は、農業用の肥料袋が大量に可燃ごみとして出されていたため適正率が低くなっています。

◆可燃ごみに混ざっていたごみ（65.79kg）の内訳

種類	(kg)	内訳
紙類	27.56	新聞・広告・ダンボールなど
容器包装プラ	12.40	汚れのないラップ・レジ袋など
衣類・布	7.97	衣類・タオルなど
埋立ごみ	8.73	粘土・氷枕・ライターなど
その他	9.13	ペットボトル・肥料袋など

知
つて
ほし
い！
伝
え
たい！

伊賀市の今



このコーナーでは、今年度、市が重点的に取り組んでいる子育てや移住交流、公共施設の見直しなどの施策について、市民の皆さんに知っていただきたい「今」を紹介します。

子育て

市内の保育所(園)では、子どもたちの健やかな成長を願って、からだそだて事業「にんにんタイム」を実施しています。

毎日15分程度、「楽しく体を動かすこと」を大切にしながら、運動遊びを楽しんでいます。

(保育幼稚園課)



移住・交流

移住の促進と空き家の積極的な活用のため、移住者を対象とした伊賀市移住促進空き家取得費補助金を創設しました。



申請期間は3月10日(金)までです。早めに手続きを済ませてください。※予算がなくなり次第終了します。

(地域づくり推進課)

《問い合わせ》

保育幼稚園課 ☎ 22・9655 FAX 22・9646
地域づくり推進課 ☎ 22・9680 FAX 22・9694

◆ おひなさん巡りで、春を感じてみませんか

伊賀上野・城下町のおひなさん

【問い合わせ】観光戦略課
☎ 22-9670 FAX 22-9695

今年で9回目を迎える「伊賀上野・城下町のおひなさん」は、「観る」「食べる」「体験する」の3つのテーマで開催されます。

観る

中心市街地の本町通り周辺の町家や商店などに新旧さまざまなひな人形を飾ります。

今年は、史跡旧崇広堂を会場に伝統的工芸品「伊賀焼」で作られたおひなさんの作品を約200点展示します。



食べる

まったりとお茶で一服しながらの雛見茶会、飲食店・和菓子店でのひな祭りをテーマにしたランチメニューやお菓子の販売などがあります。



体験する

毎年人気の「こどもなりきりおひなさま」やおひなさんの製作体験・クイズ&スタンプラリーのほか、「伊賀ぶらり体験博覧会 いがぶら」がおひなさん期間限定で「ひなぶら」として開催されます。

おひなさんを見るだけでは終わらない楽しい企画が盛りだくさんです。

【とき】 2月18日(土)～3月3日(金)

午前10時～午後4時 ※会場によって異なります。

【ところ】 本町通り周辺

詳しくは、本庁舎玄関の観光パンフレット台、各支所振興課、観光案内所にあるチラシ・当日マップをご覧ください。

【問い合わせ】

○伊賀上野・城下町のおひなさん実行委員会事務局(観光戦略課内) (平日のみ)

○伊賀上野観光協会 ☎ 26-7788 (土・日曜日、祝日)

お知らせ 新任の民生委員・児童委員

次の地区の民生委員・児童委員が決まりましたので、お知らせします。

- 上野東部
上野赤坂町：今西 政夫さん
- 城西
小田町の一部：松井 勇作さん
- 伊賀
希望ヶ丘東：奥田 道廣さん
(1月6日現在)

《お詫びと訂正》

広報いが市 12月1日号 11ページの「民生委員・児童委員 主任児童委員 新任のお知らせ」に希望ヶ丘西地区担当の委員名を記載しましたが、「選考中」の誤りでした。お詫びして訂正します。

【問い合わせ】

医療福祉政策課
☎ 26-3940 FAX 22-9673

お知らせ ～国民健康保険に加入している皆さんへ～ 市・県民税の申告が必要です

○所得により、保険税額が減額されることがあります

伊賀市国民健康保険では、保険税額を算定する際に、法令で定められた所得基準を下回る世帯については、均等割額と平等割額の7割、5割または2割を減額します。

○減額には、市・県民税の申告が必要です

減額に該当するかどうかは、世帯主とその世帯の被保険者全員の総所得金額などの合算額により判定します。収入状況が不明な人がいる世帯については、減額できません。

前年に収入が全くなかった人や、障害年金・遺族年金などの非課税所得のみの人で、市内在住の誰にも扶養されていなかった人は、国民健康保険税の賦課資料にもなりますので、必ず市・県民税の申告をしてください。

【申告期間】

2月16日(木)～3月15日(木)
※市・県民税の申告について詳しくは、広報いが市 1月合併号をご覧ください。

【問い合わせ】

保険年金課
☎ 22-9659
FAX 26-0151



お知らせ 確定申告は正しくお早めに

【申告納税期限】

- 所得税・復興特別所得税、贈与税
3月15日(木)
- 消費税・地方消費税
3月31日(金)

確定申告の作成には、国税庁ホームページ「確定申告書等作成コーナー」をご利用ください。

※平成28年分以降の申告書には、マイナンバー（個人番号）の記載と、本人確認書類の提示または写しの添付が必要です。

【問い合わせ】

上野税務署 ☎ 21-0950
※自動音声案内に従ってください。

お知らせ 上野東部地区市民センター兼公民館の3月中の使用

上野東部地区市民センター兼公民館は、3月に移転を予定しています。このため、3月中の貸館使用などできない場合がありますので、使用申請をするときは、事前にお問い合わせください。

なお、新住所での業務開始日などは、決まり次第広報いが市の紙面でお知らせします。

【申請先・問い合わせ】

上野東部地区市民センター
☎/FAX 24-3999
【問い合わせ】
上野支所振興課
☎ 22-9633 FAX 22-9694

お知らせ コンビニ交付サービス*を一時停止します

システム点検作業のため、コンビニ交付サービスを次のとおり休止します。

【休止期間】

2月7日(火)～9日(木)
*コンビニ交付サービス…コンビニエンスストア内にあるマルチコピー機で住民票の写しなどを取得できるサービス

【問い合わせ】

住民課
☎ 22-9645
FAX 22-9643



伊賀市の人口・世帯数

(平成28年12月31日現在)
人口 93,896人
(男)45,890人 (女)48,006人
世帯数 39,845世帯

インターネット 公売

- せり売り方式⇒(せ)
- 入札方式⇒(入)

公売の対象は市税の滞納処分として差し押さえた財産です。

◆市ホームページ掲載開始日時

- (せ)：2月14日(火) 午後4時
- (入)：2月14日(火) 午後4時

◆参加申込期限

- (せ)：2月27日(月) 午後11時
- (入)：2月27日(月) 午後11時

※諸事情により中止になる場合があります。詳しくは、市ホームページでご確認ください。

【問い合わせ】 収税課

☎ 22-9612 FAX 22-9618

お知らせ コミュニティセンター助成事業

(一財)自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティセンター助成事業を実施しています。

平田西町町内会では、この宝くじの助成金により、地域住民の自主的なコミュニティ活動を推進するため、集会施設の建設や座布団・テレビ座椅子などの備品購入を行いました。

【問い合わせ】

大山田支所振興課
☎ 47-1150 FAX 46-0135



今月の納税

○納期限 2月28日(火)

納期限内に納めましょう

固定資産税(4期)

国民健康保険税(8期)

※納税は便利な口座振替で

【問い合わせ】

収税課 ☎ 22-9612

催し 子育て講演会

【と き】

2月19日(日)
午後1時30分～3時
(開場：午後1時)

【ところ】

あやま文化センター さんさん
ホール

【演 題】

「子どもたちのセロトニン＆オキシ
トシン生活～愛情いっぱい幸せに
なる処方箋～」

【講 師】

東邦大学 名誉教授
有田 秀穂さん

【託 児】 ※事前申し込み必要

○対 象

1歳以上の未就学児

○申込期限

2月8日(水)

【申込先・問い合わせ】

保育幼稚園課
☎ 22-9655
FAX 22-9646



催し がん患者と家族の方の おしゃべりサロン in 伊賀

同じ病気の人のお話を聞いたり、
お互いの悩みを話したり、一人で悩
まずにお話ししましょう。

【と き】

3月2日(木)
午後1時30分～3時30分

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階ミーティ
ングルーム

【対象者】

がん患者・家族など

【問い合わせ】

三重県がん相談支援センター
☎ 059-223-1616
健康推進課
☎ 22-9653 FAX 22-9666

伊賀の「いいね!」がいっぱい
facebook

伊賀市 公式
フェイスブックページ



QRコード ▶

催し 寺田市民館

「じんけん」パネル展

【と き】

2月27日(月)までの午前8時30
分～午後5時

※土・日曜日、祝日を除く。

【ところ】

寺田教育集会所 第1学習室

【内 容】

「LGBT とは? さまざまな性につ
いて考える」

さまざまな性のあり方を理解し、
すべての人たちが自分らしく生きら
れる世の中について、一度考えてみ
ませんか。小学生にも理解しやすい
内容になっています。

【問い合わせ】 寺田市民館

☎/FAX 23-8728

催し 映画「徘徊」上映会

高齢者の徘徊をテーマにしたド
キュメンタリー映画を上映します。
認知症について考えてみませんか。

【と き】

2月25日(土)
午後1時30分～3時30分

【ところ】 ヒルホテルサンピア伊賀 3階伊賀の間

【内 容】

◆上映会

「徘徊～ママリン 87歳の夏～」
(上映時間約80分) ※字幕あり

◆講演会 (上映後)

演題：「介護体験をとおして」
講師：認知症の人と家族の会
辻中 孝子さん

※手話通訳、磁気誘導ループあり

【問い合わせ】

地域包括支援センター (中部にん
にんサポート伊賀)

☎ 26-1521 FAX 24-7511

行政情報番組

「ウィークリー伊賀市」

市政の情報をお伝えします。

【今月の特集】

「お薬手帳は1冊にしましょう」
「税の申告が始まります」など
ケーブルテレビ17チャンネル
(青山は204チャンネル)・
地上デジタル放送121チャン
ネルで放送中。

催し 柘植歴史民俗資料館企画展

柘植歴史民俗資料館では、「芭蕉
さんの文芸『俳諧』を知ろう!『ふ
たりで百首』歌仙かるた原画展」を
開催しています。

芭蕉さんと門人の2人で詠んだ歌
仙2句を100組選び、イメージ画
を添えて「百人一首」のようなかる
たを作成し、その原画を解説付きで
展示しています。

【と き】

4月9日(日)までの午前9時～午後
4時30分

※毎週月曜日を除く。

※2月22日(水)午前10時から展示
の解説を行います。

【ところ】

柘植歴史民俗資料館 1階展示室

【問い合わせ】

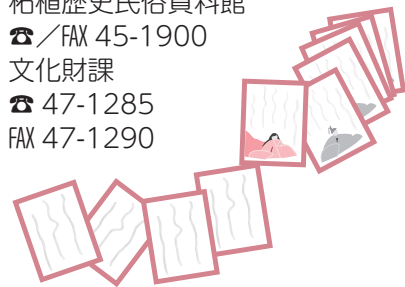
柘植歴史民俗資料館

☎/FAX 45-1900

文化財課

☎ 47-1285

FAX 47-1290



催し 空き家相談会

【と き】

3月16日(木)
午前10時～午後4時

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階学習室1

【内 容】

資産活用・管理・改築・解体・相
続・境界・税・成年後見など空き家
に関するさまざまな相談

【相談員】

宅建士・税理士・司法書士・土地
家屋調査士・不動産鑑定士・建築士
や建設業の専門家

【問い合わせ】

(公社) 三重県宅地建物取引業協会
事務局 ☎ 059-227-5018

市民生活課

☎ 22-9676 FAX 22-9641



催し サークルまつり

上野サークル協議会所属のサークル活動の発表会です。ぜひお越しください。

【と き】

- 3月4日(土)
午前9時～午後4時30分
- 3月5日(日)
午前9時～午後4時

【ところ】

ハイトピア伊賀 5階多目的大研修室、学習室1・2、ギャラリー

【内 容】

〈展示部門〉

絵画・書・伊勢型紙・切手・盆栽・生け花・陶芸など

〈舞台部門〉

詩吟・民謡・マジック・演劇・大正琴・ダンス・合唱・尺八など

【問い合わせ】

上野公民館
☎ 22-9637 FAX 22-9692

催し 認知症の人と家族の会「伊賀地域つどい・交流会」

【とき・内容】

- 2月28日(火)
○ 午後1時30分～2時30分
運動インストラクターによる運動療法
- 午後2時30分～4時
認知症の人を介護する家族の情報交換

【ところ】

ゆめぼりすセンター

【参加費】

200円
※認知症の人は無料。家族の会会員は100円。

認知症の人が参加する場合は、事前にご連絡ください。

【問い合わせ】

地域包括支援センター（中部にんにんサポート伊賀）
☎ 26-1521 FAX 24-7511

献血のご案内

●2月12日(日)

午前10時～正午
午後1時30分～4時
アピタ伊賀上野店



催し 梅まつり

年に一度、梅が咲く頃に集まり、笑いの中から、人と人とのつながりを深めます。



【と き】

2月24日(金) 午後7時～9時

【ところ】

ライトピアおおやまだ ホール

【内 容】

- ちんどん富都路
- 人権劇（布引住民自治協議会うめぼし座）
- 落語（笑福亭鶴笑）
- コーラスグループ サラダ

【問い合わせ】

ライトピアおおやまだ
☎ 47-1160 FAX 47-1162

催し いがまち人権センター 第4回解放講座

いがまち人権センターでは、部落差別をはじめとするあらゆる差別の撤廃に向けて年4回の講座を開催しています。

【と き】

2月17日(金)
午後7時30分～9時

【ところ】 いがまち人権センター

【演 題】

「しらさぎ識字学級 25周年を迎えて これからの課題」

【講 師】

しらさぎ識字学級

【問い合わせ】

いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

催し いがまち人権パネル展

【と き】

2月13日(月)～3月31日(金)
午前9時～午後5時
※土・日曜日、祝日を除く。
※2月17日(金)・24日(金)は午後7時30分まで延長して開館します。

【ところ】

いがまち人権センター

【内 容】

「部落差別撤廃のための2016年度いがまち人権センター活動紹介」

【問い合わせ】

いがまち人権センター
☎ 45-4482 FAX 45-9130

催し 台東県(台湾)の紹介・展示

昨年1月21日に自治体連携を締結した台東県(台湾)のことを知ってもらうため、文化の紹介や現地から寄贈された民俗工芸品・パンフレットを展示します。

ぜひお立ち寄りください。

【と き】

2月28日(火)まで
午前9時～午後5時
※第1・3日曜日、祝日を除く。

【ところ】 多文化共生センター（上野東町2955番地）

◆台東県産のお茶を楽しむ講座

○ とき：2月26日(日)
午後2時～3時30分

○ 定員：15人程度

○ 費用：500円

○ 申込先：市民生活課（多文化共生センター）

【問い合わせ】

市民生活課(多文化共生センター)
☎ 22-9629 FAX 22-9631

催し 第32回大山田芸術文化祭

子どもから高齢者まで幅広い年代の地域活動の成果を発表します。

○展覧会（作品展示）

【と き】

2月18日(土)・19日(日)
午前9時～午後5時

【ところ】

大山田B&G海洋センター

【内 容】 絵画・書・彫塑・手工芸・生け花など

○芸能大会

【と き】

2月19日(日) 午後1時～

【ところ】

大山田農村環境改善センター

【内 容】

日舞・詩吟・大正琴など

【問い合わせ】

大山田公民館
☎ 46-0130
FAX 46-0131



「広報いが市」の点字版・録音版を発行しています

希望される場合はお問い合わせください。

【問い合わせ】 障がい福祉課
☎ 22-9657 FAX 22-9662

募集 自動販売機設置事業者



市の施設に自動販売機を設置する事業者の一般競争入札を行い、公有財産の有効活用を図ります。

【対象施設】

ハイトピア伊賀・上野総合市民病院・あやま文化センター・青山支所（公民館）・青山福祉センター・環境センターなど（16 物件）

【設置期間】

4 月 1 日から 1 年間（最長 5 年）

【入札予定日】

3 月 7 日（日）

詳しくは、お問い合わせいただくか、市ホームページに掲載の実施要領などをご覧ください。参加要件や設置に関する条件などをご確認ください。

【問い合わせ】 管財課

☎ 22-9610 FAX 24-2440

募集 青山公民館地域学習講座 高尾の古民家で“餅つき体験”

あおやまキャラバン先生と一緒に里山の古民家でお餅つきをしませんか。



【と き】

3 月 19 日（日）

午前 9 時 30 分～午後 3 時

【ところ】

古民家“ふとみ”（高尾）

【内 容】

- 千本杵つき（餅つき）体験
- 昔あそび
- おいしいお餅を食べる

【定 員】 30 人

【参加費】 500 円／人

【申込期限】

3 月 2 日（休）

【申込先・問い合わせ】

青山公民館

☎ 52-1110 FAX 52-1211

ご意見をお聞かせください

広報いが市・行政情報番組（ウィークリー伊賀市・文字放送）について、ご意見・ご要望をお聞かせください。

【問い合わせ】 広聴情報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617

募集 伊賀市健康づくり推進協議会委員

市では、子どもから高齢者まで豊かな人生を送れるよう、健康づくりをすすめています。

健康づくり推進に関する取り組みの進捗状況を定期的に把握し、目的達成に向けた施策・事業を推進していくための審議などをしていただく委員を募集します。

【募集人数】

3 人以内

【応募資格】

市内在住の 20 歳以上で、市議会議員や市職員でない人

【任 期】

委嘱の日から 2 年間

【応募方法】

応募動機・住所・氏名・生年月日・性別・電話番号を記入の上、郵送・Eメールのいずれかで提出してください。

【選考方法】

応募者多数の場合は、応募動機、委員の構成比率などを総合的に考慮して委員を選考します。

【応募期限】

3 月 10 日（金）※必着

【応募先・問い合わせ】

〒518-0873

伊賀市上野丸之内 500 番地 ハイトピア伊賀 4 階

伊賀市健康福祉部健康推進課

☎ 22-9653 FAX 22-9666

✉ kenkousuishin@city.iga.lg.jp

募集 はつらつ運動教室

【とき・ところ】

○ 3 月 2 日（休）

ゆめぼりすセンター 大会議室

○ 3 月 23 日（休）

ハイトピア伊賀 5 階大研修室

いずれも午後 2 時～3 時 30 分

【内 容】

介護予防を目的とした、自宅でする運動を指導します。

【持ち物】

運動できる服装・靴、タオル、水分補給できるもの

【応募期限】

それぞれの開催日の前日まで

【応募先・問い合わせ】

地域包括支援センター（中部にん）にんサポート伊賀）

☎ 26-1521 FAX 24-7511

募集 上級救命講習会

～応急手当を身につけましょう～

事故や病気などで意識がなくなり、呼吸ができなくなった人や、心臓が止まった人には、救急車が到着するまでの間に、一刻も早く適切な応急手当をしなければなりません。

大切な命を守るため、応急手当の技術を身につけましょう。

【と き】

3 月 12 日（日）

午前 9 時～午後 5 時

※座学免除で実技のみ受講の場合、

午前 10 時～午後 5 時

【ところ】

伊賀市消防本部（新庁舎）3 階 研修室

【内 容】

救命に必要な応急手当・傷病者管理・外傷の手当要領・搬送法

【対象者】

中学生以上で市内在住、在勤、在学の人

※次のいずれかにあてはまる人は座学が 1 時間免除で、実技のみの受講になります。

○平成 29 年 2 月 12 日以降に市ホームページで受講できる応急手当ウェブ講習を修了した人

○平成 28 年 3 月 12 日以降に救命入門コースを修了した人

【定 員】 30 人

※5 人未満の場合は開講しません。

【申込方法】

所定の用紙に記入の上、持参またはファックスでお申し込みください。申込用紙は市ホームページからダウンロードできます。

※ファックスでの申し込みは、事前に連絡してください。

※受講修了者には「上級救命講習修了証」を交付します。

※実技がありますので、動きやすい服装で受講してください。

【申込期間】

2 月 6 日（月）～3 月 6 日（月）

【申込先】

消防救急課・各消防署・各分署

【問い合わせ】

消防救急課

☎ 24-9116 FAX 24-9111



募集します



臨時保育士・ 臨時看護師

市内公立保育所（園）で勤務していただく臨時保育士・臨時看護師を募集します。

【募集人数】

若干名

【応募資格】

保育士資格・看護師資格

【勤務時間】

午前8時30分～午後5時15分
※早出・遅出あり

【賃金】

○保育士：8,600円/日（常勤）
○看護師（正看）：9,350円/日
○看護師（准看）：7,760円/日

【提出書類】

履歴書、保育士証または看護師免許の写し

【応募期間】

随時受付

【応募先・問い合わせ】

保育幼稚園課

☎ 22-9655 FAX 22-9646

募集 キルギス共和国の 食と文化を知ろう!!

キルギス共和国は、中央アジアに位置する山岳の国です。

【と き】 3月12日(日)

【ところ】

青山ハーモニー・フォレスト

【第1部】

午前10時～午後1時

【内容】

○キルギスの家庭料理の調理実習と食事会

ラグマン（トマトベースのスープうどん）・ボルソック（あげパン）・ビーツのサラダ

【参加費】 1,000円（食材費）

【定員】 30人 ※先着順

【申込受付開始日】 2月13日(月)

【第2部】

午後1時～3時

【内容】

キルギス共和国の文化の紹介・羊毛を使ったキーホルダー作り体験など
※第2部のみの参加も可能です。第2部は申し込み不要です。

【申込先・問い合わせ】

青山支所振興課

☎ 52-1112 FAX 52-2174

募集 ゆめテクノ伊賀こども大学

春休みを利用して、楽しい工作や科学の授業に参加しませんか。

【と き】

3月28日(火)

午前9時30分～午後1時30分～の2回

【ところ】

ゆめテクノ伊賀 3階テクノホール

【対象者】

小学校3年生以上

【内容】

○カラフルなチョコで毛糸を染色してみよう！

○七色に光るチャームを作ろう！

【講師】

三重大学教授ほか

【定員】 各回30人

【申込方法】

チラシ記載の応募用紙に必要事項を記入の上、郵便はがきに貼付し、郵送してください。

詳しくはお問い合わせいただくか、伊賀市文化都市協会ホームページをご覧ください。
(<http://www.bunto.com>)

【申込期限】

2月28日(火) ※消印有効

※応募者多数の場合は公開抽選会を行います。

◆公開抽選会

【と き】

3月10日(金) 午前10時～

【ところ】

ゆめテクノ伊賀

【申込先・問い合わせ】

〒518-0131

伊賀市ゆめが丘一丁目3番地の3

ゆめテクノ伊賀

☎ 41-1061

【問い合わせ】 商工労働課

☎ 22-9669 FAX 22-9628

「あんしん・防災ねっと」

携帯電話などのメールアドレスを登録した人には、市から緊急情報メールが届きます。また、災害時の緊急情報・避難所情報や休日・夜間診療所情報などが閲覧できます。

<http://www.anshin-bousai.net/iga/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で、QRコードを読み込んで登録できます。



QRコード ▶

【問い合わせ】 総合危機管理課

☎ 22-9640 FAX 24-0444

募集 みえの育児男子倶楽部 ゲストトーク&参加者交流会

男性同士が会社などの垣根を越えて、子育てに関する楽しみや悩み、経験談などを気軽に話し、情報交換を楽しむための集まりの場です。



ゲストトークでは、子育てに関する知識、子どもや家族との関わり方のヒントが盛りだくさんです。

参加者同士の交流を通じてパパ友やネットワークを作りましょう。

【と き】

3月1日(火) 午後7時～9時

【ところ】

ハイトピア伊賀 4階多目的室

【ゲストトーク】

「本でつながる父子の絆」

【ゲスト】

子どもの本専門店「メリーゴーランド」店主 増田 喜昭さん

【対象者】

子育て中の男性や育児に関心のある男性など

【定員】 60人 ※先着順

【申込方法】

住所・氏名・電話番号・子どもの年齢を記入の上、電話・ファックス・Eメール・持参のいずれかで申し込んでください。

【申込受付開始日】

2月7日(火)

【申込先】

子育て包括支援センター（こども未来課内）

☎ 22-9665 FAX 22-9666

✉ kodomo@city.iga.lg.jp

【問い合わせ】

三重県少子化対策課

☎ 059-224-2304

FAX 059-224-2270

広報いが市PDF版

広報いが市PDF版を市ホームページでご覧いただけます。

<http://www.city.iga.lg.jp/>

※携帯電話のバーコードリーダー機能で、QRコードを読み込んでアクセスできます。



QRコード ▶

【問い合わせ】 広報情報課

☎ 22-9636 FAX 22-9617



飛躍の年になるように

西の春展（1月4～7日）

ハイトピア伊賀で西の春展を開催しました。

これは、毎年恒例の干支の春展で、今年の干支の「酉」にちなんだ82点の絵馬が並びました。

また、今年の子どもの作品のほかに、過去の酉年である昭和32年、平成17年の春展で展示された絵馬や、上野公民館サークルによる干支にちなんだ作品などを展示しました。

そのほか、小学生以下の子どもを対象とした「子どもの部」も開催し、絵の具やクレヨンできれいにぬられた絵などかわいらしい作品がそろいました。



◀「子どもの部」の作品

▼会場には個性豊かな絵馬が展示され、訪れた人は興味深そうに眺めていました。



立派に成長しました！

平成29年成人式（1月8日）

新成人の門出を祝い、成人式を行いました。今年も中学校区ごとに市内9カ所の会場を設け、それぞれの実行委員会の発案により独自の趣向をこらした運営をしました。

会場のひとつとなった前田教育会館では、小・中学校時代の恩師が登場し、新成人から恩師へ花束が贈呈されました。

恩師である先生方は、新成人へのメッセージとして、お祝いの言葉とともに、現在の学校の様子や新成人たちとの思い出話などを語り、再会の喜びを分かち合いました。

そのほかにも、小学校時代の写真をスライドショーで映し出す企画などがあり、新成人たちは自分や仲間の当時の姿を懐かしみながら、思い出話に花を咲かせている様子でした。



▲恩師に花束を渡す新成人たち



▲今年は935人が成人し、717人が成人式に参加しました。

ガスコンロのグリルはオーブンのように使えるんです！

レシピ紹介

グリルで作る「フォンダンショコラ」

●材料（アルミ又はステンレスのプリンカップ4個分）
チョコレート（ミルクでもビターでもお好みで）…100g
バター……90g 薄力粉……30g
砂糖………30g 卵………2個

●作り方【両面焼グリル】

- ①ボウルにチョコレート、バターを入れて湯せんで溶かす。
- ②①に砂糖、溶き卵、薄力粉の順に加え混ぜ合わせる。
- ③カップに②を流し入れ、グリルに入れる。
- ④上下とも弱火で5～6分焼く。

☆こんなに簡単なのに、中はトロトロの本格派！

☆生地を流し込むときにチョコをひとかけ、溶ばせておくとさらにトローリ♪



トーストができる！

温め直しもできる!!



ノンフライ調理もできる!!!



上野ガス

<http://www.ueno-gas.co.jp>

伊賀市上野茅町2706
☎0595-21-3611

※掲載広告について不明な点は直接広告主へお問い合わせください。



▲鉦を演奏する子どもたち

参加者は、上野向島町の囃子方である翔英会から、お囃子に使われる鉦や太鼓の叩き方を教わりました。鉦は「コン、チキチ、チキチ、チキチ」というリズムで叩き、太鼓は力強く叩くという説明を受け、指導者の笛に合わせて鉦と太鼓を演奏しました。

この日は11人が参加し、伝統文化に触れる貴重な体験をしました。

はやし ダンジリのお囃子に挑戦！

上野天神祭のお囃子体験会（1月14日）



▲指導者と向かい合って太鼓の演奏を教わる様子

本紙6ページの
「消防出初式」に
ついて、わかりやすく解説します。



こども広場

「防火の意識を持とう」

出初式は
江戸時代から続く行事

伊賀市では、毎年正月に消防署の職員と消防団員が集まり、消防出初式という行事を行っています。

出初式の歴史は江戸時代にさかのぼります。1657（明暦3）年に「明暦の大火」と呼ばれる火災が江戸で起こり、まちの大半を焼きつくしました。これをきっかけに幕府は防火に力を入れ、翌年に新しい消防組織「定火消」が作られました。

（園）の子どもたちによる幼年消防クラブ員が「防火の誓い」を行います。全国でも、さまざまな内容で出初式が行われています。

東京消防出初式では、音楽隊などの演奏、消防車両のパレード、ヘリコプターの飛行、伝統のはしご乗り演技などをを行います。

お隣の名張市では、ポンプ車などを使って、赤・青・紫など7色の一斉放水などを行っています。

出初式を通して安心と防火意識を

このように、出初式は、新年の始まりにあたり、消防職員・消防団員などが、改めて「大切なまち・ひとを守る」という決意をするとともに、市民のみなさんに「安全・安心」を身近に感じ、防火の意識を高めてもらうために行っています。

また、みなさんに、将来消防活動に参加してもらい、自分たちのまちを守ってほしいという願いを込めています。

【問い合わせ】 消防救急課

☎ 24・9115 FAX 24・9111

市長の伊賀じまん

ー 音のある風景 ー



私たちの暮らしには、さまざまな音が存在します。それは、普段の生活の中で聞こえてくるものもあれば、今ではもう耳にすることができず、記憶の中だけに残っているものもあります。

記憶からは、目に浮かぶ風景とともに、周囲の音や人々の声などが思い出され、そんな「音の記憶」というものにしばしば思いをはせることがあります。

私が子どもの頃は、今よりもっとのどかで、人々の暮らしが見える時代でした。朝起きると、花売りの人



▲自宅で組紐作りをする女性

が「花いらかな〜。」とリヤカーをひいてやってきたり、夕方にはお豆腐屋さんが鐘を「チリンチリン」と鳴らしながらやってきて、隣の家からは夕食の支度をする音が聞こえていました。

また、冬になると子どもは「マッチ1本火事のもと」「火の用心」などと唱えながら、拍子木を「カチンカチン」と叩いてまちを歩き

▶まちなかでリヤカーをひきながら物売る様子
(樹林舎『伊賀秘蔵写真帖』より転載、撮影＝松田昇さん)



回ったものです。

そのほかにも、学校の帰り道に通りがかった家の中から聞こえてきた、高台で組紐を打つ「トントントン」という音も懐かしく思います。

このような音の記憶には、伊賀の文化がよく表れています。これらの音は、当時は当たり前だったものばかりですが、今ではなかなか耳にすることができないだけに大変貴重なものであったと改めて感じています。

また、人々の言葉を音としてとらえると、全国的に言葉が標準化している中、伊賀では今も変わらず「京ことば」の流れである優しく柔らかい「伊賀ことば」が使われています。そんな伊賀ならではの言葉をこれからも大切にすることで、伊賀のすばらしさを感じられる音のある風景を残していくことができるのではないのでしょうか。

このように、音の記憶をたどり、昔を思い出すと、改めて私たちのアイデンティティ（個性）を知ることにもなります。伊賀らしい音のある風景は、これからのおもてなしにも大切なものだと思います。

(伊賀市長 岡本 栄)

防災ねっと

子どものためにできること

小さな子どもがいる家庭では、一般的な防災対策に加えて少しの備えをすることで、安心して暮らすことができます。今回は、そのポイントを紹介します。

◆身のまわりの安全チェックをする

ベビーベッドの周囲や、子どもがいつも遊んでいるリビングなどは整理整頓し、安全な空間をつくりましょう。物を積み上げたり、家電などの重いものを高いところに置くのは危険です。また、ガラスが飛び散らないようにフィルムを貼ったり、戸棚や引き出しが飛び出ないように固定することも大切です。

◆食料などの必需品を用意する

「わが家のオリジナル災害用品セット」を用意することが、安心につながります。

(例) ※子ども用

- ミルク (小分けのものが便利)
- 調乳用の水 (軟水かベビー用飲料水)
- 哺乳瓶 (使い捨てが便利)
- レトルトの離乳食・おやつ ○アレルギー対応品
- 着替え (夏でも長袖・長ズボンを用意する。)

- 紙オムツ・おしりふき・ウェットティッシュ

- ごみ用ビニール袋 ○おもちゃ・絵本

- タオル・バスタオル (圧縮しておくとう便利)

- 薬・処方せん ○母子健康手帳や健康保険証のコピー
- ※ベビーカーなどでの避難は危険ですので、おんぶひもやリュックサックを用意しておきましょう。

◆家族で防災会議をする

災害時に家族が一緒にいるとは限りません。さまざまなことを想定して、集合場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。

※災害時は、携帯電話が使えないこともあります。「災害用伝言ダイヤル」の使い方のメモや、連絡先のメモを用意することも大切です。

◎普段から子どものためにできることは、「もしも」に備えておくことです。皆さんもできることから少しずつ始めましょう。

【問い合わせ】

総合危機管理課 ☎ 22-9640 FAX 24-0444



介護相談員だより



施設での^{みと}看取り

介護相談員主な活動は、毎月介護施設を訪問し、利用者の声を聞くことです。

お話を伺う中で、施設利用者にとって施設は「終の^{すみか}住処」になることが多く、施設で最期を迎えることに對する不安の声を聞くことがあります。

看取りを行っている施設にお話を伺うと、利用者が亡くなるとほかの利用者にも知らせて、みんなで手を合わせて見送ったり、慰霊を行ったりしているとのことでした。

このような対応によって、自分も大事にしてもらえろという安心感を抱き、施設で最期を迎えたいと考える利用者も多いとのことでした。

私たち相談員も、より多くの施設でこうした取り組みが行われれば、利用者の安心につながるのではないかと考えています。これからも利用者やご家族と施設の橋渡しとなるよう介護相談員活動を行っていきます。

【問い合わせ】

介護高齢福祉課 ☎ 26-3939 FAX 26-3950

伊賀線だより



「木育^{もくいく}トレイン」運行開始！

忍者列車のさらなる魅力向上のため、緑色の忍者列車の内装に三重県産の木材をふんだんに使用した「木育トレイン」の運行を開始しました。

「木育」とは、木への親しみや木の文化への理解を深め、木材の良さや利用の意義を学ぶ教育活動です。市ではこれまで、「みえ森と緑の県民税市町交付金」を活用した事業に取り組んできました。「木育トレイン」も、この交付金と、同事業を応援いただいた皆さんからの寄付金により、もっと多くの人に三重県産の木材を身近に感じていただくために実現しました。

列車内にはスギやヒノキなどの木材が使われており、本物の木の香りが漂う、ぬくもりのある空間になっています。伊賀らしく手裏剣型のつり革も登場しました。

ぜひ、装いを新たにした緑色の忍者列車に乗って、木のぬくもりに触れてみてください。

【問い合わせ】

交通政策課 ☎ 22-9663 FAX 22-9852

伊賀鉄道(株)総務企画課 ☎ 21-0863

明日に向かって ～差別をなくしていくために～

人権について考えるコラムです。

女性の活躍する社会をめざして —青山支所住民福祉課—

人権研修でよく出る話を紹介します。

「父親と息子がドライブをしていて交通事故にあり、大けがをした2人は別々の病院に運ばれました。すると、息子が運ばれた病院の外科医が『これはわたしの息子です』と言うのです」。

「どういうことだろう、父親が2人いる？」と思った人はいませんか。さまざまな答えが考えられますが、「外科医が母親だった」という可能性があります。このように、外科医＝男性だと思い込んでしまうなど、私たちは無意識のうちに、職業などを「これは女性向きか男性向きか」と考え判断していることがあります。

昨年4月には「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」（女性活躍推進法）が施行され、職場での運用や意識改革が求められています。女性1人ひとりの持つ個性や能力を認め、女性が活躍できる場を充実させ、指導的な立場にいる「女

性リーダー」を増やしていこうというものです。私も女性として、この取り組みに期待しています。

しかし、結婚や出産、育児、介護などが原因で、仕事を離れざるを得ない女性も多く、リーダーになることに不安をもっている人もいます。

でも、ある日「リーダーをやってみませんか」と声がかかるかもしれません。そのときはすぐに断らずに、「まずはやってみよう！」と考えてみてほしいと思います。

女性ならではの視点や感性で物事を発信し、リーダーシップを発揮することで、組織の中で新たな気付きや仕組みを作り上げていくことができるはずで、今後ますます女性の活躍に期待をすると共に、自分も頑張りたいと思います。

女性がいきいきと自分らしく生きていける状況が整ってきたとき、初めて社会の中で、真に女性の活躍が推進されていくのだと思います。

■ご意見などは人権政策・男女共同参画課 ☎ 47-1286 FAX 47-1288 ✉ jinken-danjo@city.iga.lg.jp へ

図書館 だより

《問い合わせ》

上野図書館 ☎ 21-6868 FAX 21-8999
 いがまち図書室（いがまち公民館内） ☎ 45-9122
 島ヶ原図書室（島ヶ原会館内） ☎ 59-2291
 阿山図書室（あやま文化センター内） ☎ 43-0154
 大山田図書室（大山田公民館内） ☎ 47-1175
 青山図書室（青山公民館内） ☎ 52-1110

今月の新着図書

☑一般書

『正倉院宝物』

杉本 一樹／著

9,000 点に及ぶ正倉院の宝物の中から、聖武天皇の愛した調度品や生活道具、楽器、文房具、染織品など 181 点を分類ごとに厳選して紹介しています。奈良時代の華やかな文化を今に伝える、貴重な宝物の見どころがよくわかります。

☑絵本

『すやんこすやんこおやすみなさい』

オームラ トモコ／作・絵

ねぼけまなこの虫や動物たちが、森の中で枯れ葉や木の実を集めたり、穴を掘ったりして、冬支度をしています。それぞれの寝床で、すやんこすやんこおやすみなさい…。動物たちの幸せそうな寝顔が、温かい気持ちにしてくれる絵本です。

■一般書

『縁側のある家と暮らし』

エクスナレッジ／出版

『あんこのことがすべてわかる本』

芝崎 本実／監修

■児童書

『四年ザシキワラシ組』

こうだ ゆうこ／作、田中 六大／絵

『化学変化のひみつ』

小森 栄治／監修

『小学校の生活』

はまの ゆか／絵

■絵本

『ぼく、ドジオ。』

いらい としお／さく

『なつみはなんにでもなれる』

ヨシタケ シンスケ／作・絵

『まいごのこいぬプッチー』

ヒド・ファン・ヘネヒテン／文・絵

図書館（室）からのお知らせ

◆図書館活用術《2月》

「本わかおりがみの日」（本でわかるおりがみの日）



図書館の本を使う楽しみを、1月から3月にかけて紹介しています。2月は折り紙体験です。

図書館にはびっくりするくらいたくさんの折り紙の本があります。これらの本を使って、子どもも大人も一緒に、お箸入れなどの暮ら

しに役立つ小物やかわいい動物を折り紙で作ってみませんか。

折るものは自由です。あなたの折りたい物が載っている本を司書がお探しします。

【と き】 2月12日(日) 午前9時～午後5時

【ところ】 上野図書館 2階視聴覚室

【問い合わせ】 上野図書館

2月の読み聞かせ

絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊びなどをします。(30分～1時間程度)

と き		ところ	催物（読み手）	と き		ところ	催物（読み手）
7日(火)	10：30～	大山田図書室	あかちゃんたいむ・ミニおはなし会	19日(日)	10：30～	阿山図書室	読み聞かせの会(はあと&はあと)
8日(水)	10：30～	いがまち図書室	ミニサロンひまわり	22日(水)	10：00～	島ヶ原老人福祉センター(清流)	読み聞かせ会(ネェよんで)
9日(木)	10：30～	上野図書館	えほんのひろば(ちいさなねこ)		10：30～	上野図書館	おひざでだっこのおはなし会
	11：30～	青山図書室	おとなカフェ *大人対象	25日(土)	10：00～	いがまち図書室	読み聞かせ会(ぶらんこ)
11日(土祝)	10：30～	上野図書館	おはなしの会		10：30～	上野図書館	おはなしの会
14日(火)	10：30～	阿山図書室	読み聞かせの会(はあと&はあと)	3月1日(水)	10：00～	いがまち図書室	絵本の時間(お話の国アリス)
15日(水)	10：30～	上野図書館	えほんの森(よもよも)	3月3日(金)	10：30～	上野図書館	絵本と音のカーニバル(Twinkle)
16日(木)	11：30～	青山図書室	おはなしなあに？				

2月の二次救急実施病院

◎各病院の受け入れ体制

日	月	火	水	木	金	土
			1 岡波・名張	2 名張	3 上野	4 名張
5 名張	6 岡波	7 名張	8 岡波・名張	9 名張	10 上野	11 上野
12 岡波	13 岡波	14 上野	15 岡波・名張	16 名張	17 上野	18 名張
19 名張	20 岡波	21 名張	22 岡波・名張	23 名張	24 上野	25 上野
26 岡波	27 岡波	28 上野	*小児科以外の 診療科です。			

《実施時間帯》 平日：午後5時～翌日午前8時45分
土・日・祝日：午前8時45分～翌日午前8時45分

《実施時間帯（岡波総合病院）》

月曜日：午後5時～翌日午前9時 水曜日：午後5時～翌日午前8時45分
日曜日：午前9時～翌日午前8時45分
※月・水曜日が祝日の場合、午前9時～翌日午前8時45分

救急車での搬送限定ではありませんが、必ず事前に連絡が必要です。

【上野総合市民病院（☎ 24-1111）】

【名張市立病院（☎ 61-1100）】

【岡波総合病院（☎ 21-3135）】

※重症者が重なり、診察できない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いません。

※二次救急（重症）の人が対象です。

◎伊賀市救急相談ダイヤル 24

☎ 0120-4199-22

（フリーダイヤル）

医師・看護師などが24時間年中無休体制で、救急医療や応急処置などに関する相談に応じます。（通話料・相談料：無料）

◎伊賀市応急診療所（一次救急）【診療科目】 一般診療・小児科

【所在地】 上野桑町 1615 番地 ☎ 22-9990

【診療時間】 月～土曜日：午後8時～11時

日曜日・祝日：午前9時～正午・午後2時～5時・午後8時～11時

※受付は、診療終了時刻の30分前までをお願いします。

◆夜間・日曜日および祝日診療を行っている医療機関については、三重県救急医療情報センター（☎ 24-1199）へお問い合わせください。

情報交流ひろば

となりまち いが・こうか・がめやま

甲賀市

亀山市

忍者の日記念事業 パネルディスカッション

～尾張藩御忍役人渡辺家の実像に迫る～



2月22日は忍者の日。忍者の日には、映画化もされたベストセラー「武士の家計簿～『加賀藩御算用者』の幕末維新～」の

原作者である磯田道史さんを迎えてパネルディスカッションが行われます。甲賀忍者の末裔の古文書から見える忍者とは。歴史学者の観点から、忍者研究の魅力や忍者を生かしたまちづくりなどについて4人のパネラーに語っていただきます。

【とき】

2月22日(水) 午後7時～（90分程度）

【ところ】 あいこう市民ホール（甲賀市水口町水口 5633）

【アクセス】 JR 草津線貴生川駅経由
近江鉄道水口城南駅下車すぐ

【問い合わせ】 甲賀市観光企画推進室

☎ 0748-65-0708 FAX 0748-63-4087

東海道のおひなさま 亀山宿・関宿

～趣のあるひな人形と町並みを～



東海道「亀山宿」と「関宿」の街道沿いに、愛らしいおひなさまが飾られます。

2月11日(土)には、オープニングイベントとして関宿

足湯交流施設などでぜんざいのふるまいがあります。

期間中は、各宿に設置されたスタンプを集め、抽選で素敵な商品が当たる「東海道のおひなさまスタンプラリー」や和小物などの講座も行われます。

【とき】 2月11日(土)～3月12日(日)

【ところ】 亀山宿：本町～布気町

関宿：関町木崎～関町新所

【アクセス】

亀山宿：JR 亀山駅下車北へ徒歩約10分

関宿：JR 関駅下車北へ徒歩約5分

【問い合わせ】 東海道のおひなさま亀山宿・関宿実行委員会（亀山市観光協会内）☎ 0595-97-8877

市民文化部関支所観光振興室 ☎ 0595-96-1215

【問い合わせ】 甲賀市広報課 ☎ 0748-65-0675

【問い合わせ】 亀山市広報秘書室 ☎ 0595-84-5021

病気になりにくい
カラダを作る
健康レシピ

レンコンの 甘酢ソテー

粘膜保護で風邪やインフルエンザを予防しよう！

レンコンの粘り気のもとであるムチンには優れた保水性があり、鼻や喉などの粘膜の表面を覆っている重要な成分でもあります。そのため、粘膜を保護してウイルスの侵入を防ぐ効果があります。

また、レンコンはレモン果汁に匹敵するほどビタミンCを豊富に含んでいるため、さらに免疫力を高める効果が期待できます。



レンコンの
甘酢ソテー



ご飯

ささみの香味焼き

スープ

ほうれん草の
かつお和え

材料 (2人分)

レンコン……………120g (小1節)
さつまいも……………120g (小1個)
長ねぎ……………30g (1/4本)
片栗粉…9g (大さじ1) ごま油…8g (小さじ2)
しょうゆ…30g (小さじ5) 酢…15g (大さじ1)
砂糖…15g (小さじ5) 黒ごま…6g (大さじ1)

1. レンコンとさつまいもは5～10mm幅で半月切りにする。長ねぎは斜め切りにする。レンコンは片栗粉をまぶし、さつまいもは電子レンジなどで加熱しておく。
2. ごま油でレンコンを少し色づくまで炒め、さつまいもと長ねぎも加えて炒める。
3. しょうゆ・酢・砂糖を混ぜ合わせて回しかけ、少しとろみがつくまで加熱し、黒ごまを絡める。

(1人分:エネルギー 234Kcal、たんぱく質 3.7g)



上野総合市民病院 管理栄養士による病気にならないためのレシピです。

伊賀市の文化財 104

市史跡

東山古墳 (円徳院)

東山古墳は、柘植川と河合川の合流点付近に向かって延びる丘陵の頂にあり、昭和61年(1986)、県道のバイパス工事に伴って実施された中世城館跡の発掘調査で偶然発見されました。

墳丘平面の形状は楕円形で、大きさは長径21m、短径17mでした。墳丘の中央部では長さ6.9m、幅2.3mの長大な墓坑が検出され、長さ4.5m、幅0.68mの割竹形木棺の痕跡が確認されました。遺物はすべて墓坑から出土し、棺跡の周囲で見つかった鉄斧2点を除き、銅鏡1面をはじめ、鉄剣1振、銅鐙3点、鉄鐙1点、用途不明の鉄製品2点、砥石1点、土師器の器台と高杯各1点すべてが棺跡から出土しています。

棺跡の北側で出土した銅鏡は、3分の1程度が欠損しており、面径は13.7cmです。中央には、鈕と呼ばれる径2.4cm、高さ1.1cmの、紐を通すための半球状をした突起とその外側に乳と呼ばれる小さな突起があり、その間にやや盛り上がった表現された獣が3匹見えます。また、その外側に文字が記され、さらに外側に櫛や鋸の歯のような文様が配置

されています。

また、棺跡の南側で出土した器台や高杯は、その形状から3世紀代にさかのぼる可能性があります。

東山古墳は、現地に墳丘が保存された県内で最古の古墳のひとつであり、古墳時代の早い段階から伊賀地域で古墳が築かれていたことを示しています。この古墳が築かれた後、柘植川流域や河合川右岸では古墳時代中期から後期にかけて県内最大級の前方後円墳である御墓山古墳をはじめ、数多く古墳が築かれています。東山古墳の被葬者は、これらの古墳を築いた有力者たちの先祖にあたるような人物と想像されています。

※割竹形木棺：古墳時代の木棺の一種で、丸太を縦に2つに割り、中身をくり抜いて身と蓋をつくり、それを合わせた長大な円筒形の木棺。



銅鏡



▲墓坑の様子

※写真は三重県埋蔵文化財センター提供
文化財課

TEL 47・1285 FAX 47・1290